



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アーレスティ

コード番号 5852 URL <http://www.ahresty.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 古屋 茂 TEL 03-5332-6001

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	25,937	19.7	487	-	300	-	49	-
24年3月期第1四半期	21,660	△8.6	△538	-	△515	-	△345	-

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 279百万円 (127.4%) 24年3月期第1四半期 123百万円 (△67.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	2.31	2.30
24年3月期第1四半期	△16.06	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	103,395	35,629	34.4
24年3月期	105,208	35,414	33.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 35,561百万円 24年3月期 35,346百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	3.00	-	3.00	6.00
25年3月期	-	-	-	-	-
25年3月期(予想)	-	6.00	-	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,400	10.1	500	-	150	-	△200	-	△9.27
通期	111,000	6.9	2,250	64.7	1,600	80.0	800	△43.7	37.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	21,778,220株	24年3月期	21,778,220株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	213,776株	24年3月期	213,776株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	21,564,444株	24年3月期1Q	21,539,437株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、生産の緩やかな持ち直しや輸出に持ち直しの動きが見られるなど緩やかに回復しつつある状況でした。

海外においては、欧州債務問題が払拭できないことや中国やインドの景気拡大のテンポが緩やかになるなど全体として減速感が広がっており、弱い回復となっていました。

このような環境の中で、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高25,937百万円（前年同四半期比19.7%増）、営業利益487百万円（前年同四半期は営業損失538百万円）、経常利益300百万円（前年同四半期は経常損失515百万円）、四半期純利益49百万円（前年同四半期は四半期純損失345百万円）と増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、東日本大震災の影響により落ち込んでいた生産が回復したことに加え、エコカー補助金等による国内販売増もけん引となり、生産が増加しました。当社においても、それらの影響を受けて受注が増加したことにより、売上高は、15,560百万円（前年同四半期比16.2%増）となりました。収益面においては受注増の影響等により、セグメント利益は102百万円（前年同四半期はセグメント損失165百万円）となりました。

#### ② ダイカスト事業 北米

北米では、東日本大震災の影響により減少した主要顧客からの受注が回復し、アメリカでの自動車販売も好調であることから受注が増加し、売上高は5,336百万円（前年同四半期比46.5%増）となりました。収益面においては、受注増の影響や、前年同四半期にメキシコで発生していた生産対応の遅れによる費用が解消されたこと等により、セグメント利益は382百万円（前年同四半期はセグメント損失441百万円）となりました。

#### ③ ダイカスト事業 アジア

中国では、平成23年夏から操業を開始した合肥における新拠点の操業開始に加え、広州の拠点においても新規製品の量産が本格化したことにより受注が増加し、アジアでの売上高は3,918百万円（前年同四半期比12.9%増）となりました。収益面においては、インド及び合肥での先行投資による固定費の増加影響等により、セグメント損失は2百万円（前年同四半期はセグメント利益89百万円）となりました。

#### ④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、市況低迷によって価格が抑えられた状況ではあるものの、二次合金地金の出荷量が前年同四半期比で34.5%増となったことにより、売上高は925百万円（前年同四半期比15.5%増）となりました。収益面においては、受注の増加や、使用原材料を含む原価低減活動を図ったことにより、セグメント利益は200百万円（前年同四半期はセグメント損失32百万円）となりました。

#### ⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業や通信会社のデータセンター向け物件等の設備投資が低調なことにより受注が減少し、売上高は195百万円（前年同四半期比44.7%減）となりました。収益面においては、受注減少の影響等により、セグメント損失は34百万円（前年同四半期はセグメント損失6百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,812百万円減少して103,395百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少2,690百万円、有形固定資産の増加1,408百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2,027百万円減少して67,766百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,402百万円、借入金の減少855百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ215百万円増加して35,629百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少372百万円、為替換算調整勘定の増加602百万円であります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末33.6%から34.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内では、売上高は当初予想を上回る見込みであるものの、高負荷に伴うロス等により減益となる見通しです。また、東海工場集約に伴う一時的な費用が当初予想よりも先行することにより個別の第2四半期累計期間では減益となる見通しですが、通期で当初予想通りとなる見込みです。なお、東海工場の集約については、来春の完了予定で計画通り進めております。

海外では、中国及びインドの売上高は、前期比で各々1.4倍、1.6倍と大幅に増加する見込みであるものの、当初予想より売上高が減少することに伴う固定費負担の増加により当初予想よりも減益となる見通しです。また、北米ではメキシコにおける前期の生産対応の遅れによる費用発生が解消されたものの、製品ミックスによる付加価値の減少が見込まれるため当初予想よりも減益が見込まれます。

このような背景から平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月14日の発表値を以下のとおり修正します。

今後、更に生産性の向上を行い収益力の確保に努めて参ります。

なお、連結業績予想における為替レートは、80.0円/米ドル、12.6円/元を前提としております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	112,500	3,750	3,350	2,400	111.29
今回修正予想 (B)	111,000	2,250	1,600	800	37.10
増減額 (B-A)	△1,500	△1,500	△1,750	△1,600	—
増減率 (%)	△1.3	△40.0	△52.2	△66.7	—
前期実績	103,800	1,366	888	1,420	65.87

参考 (今回修正予想)

		売上高	営業利益
		百万円	百万円
ダイカスト	日本	64,800	1,450
	北米	21,200	800
	アジア	19,300	△150
アルミニウム		3,800	100
完成品		1,900	50

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,358	4,668
受取手形及び売掛金	24,541	23,120
商品及び製品	2,153	2,752
仕掛品	3,826	4,592
原材料及び貯蔵品	2,657	2,656
その他	3,949	3,993
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	44,486	41,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,433	10,550
機械装置及び運搬具(純額)	25,228	26,487
土地	5,716	5,699
建設仮勘定	8,747	8,595
その他(純額)	4,009	4,210
有形固定資産合計	54,135	55,544
無形固定資産		
投資その他の資産	901	929
投資有価証券	5,150	4,573
その他	535	567
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	5,685	5,139
固定資産合計	60,721	61,613
資産合計	105,208	103,395
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,653	17,251
電子記録債務	—	1,083
短期借入金	4,541	3,398
1年内返済予定の長期借入金	9,133	9,664
未払法人税等	273	308
賞与引当金	1,092	1,816
事業構造改善引当金	—	442
製品保証引当金	448	436
災害損失引当金	104	102
その他	7,919	6,349
流動負債合計	42,166	40,853
固定負債		
長期借入金	19,674	19,430
退職給付引当金	3,790	3,844
事業構造改善引当金	482	—
その他	3,680	3,636
固定負債合計	27,627	26,912
負債合計	69,794	67,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,117	5,117
資本剰余金	8,359	8,359
利益剰余金	26,240	26,226
自己株式	△320	△320
株主資本合計	39,397	39,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,846	1,473
為替換算調整勘定	△5,897	△5,294
その他の包括利益累計額合計	△4,050	△3,820
新株予約権	67	67
純資産合計	35,414	35,629
負債純資産合計	105,208	103,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	21,660	25,937
売上原価	19,720	23,080
売上総利益	1,940	2,856
販売費及び一般管理費	2,478	2,369
営業利益又は営業損失(△)	△538	487
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	37	37
負ののれん償却額	27	—
為替差益	65	—
スクラップ売却益	17	19
その他	32	12
営業外収益合計	190	75
営業外費用		
支払利息	141	180
為替差損	—	55
その他	25	26
営業外費用合計	167	261
経常利益又は経常損失(△)	△515	300
特別利益		
固定資産売却益	0	1
補助金収入	—	168
特別利益合計	0	170
特別損失		
固定資産除売却損	4	34
退職給付制度改定損	22	—
その他	8	—
特別損失合計	34	34
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△549	436
法人税、住民税及び事業税	226	369
法人税等調整額	△430	17
法人税等合計	△203	386
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△345	49
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△345	49

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△345	49
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	△372
繰延ヘッジ損益	16	—
為替換算調整勘定	505	602
その他の包括利益合計	468	229
四半期包括利益	123	279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123	279
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。
- (5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	13,391	3,642	3,471	801	353	21,660
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,249	9	155	379	—	1,793
計	14,640	3,651	3,627	1,181	353	23,454
セグメント利益又は損失(△)	△165	△441	89	△32	△6	△556

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△556
セグメント間取引消去	18
四半期連結損益計算書の営業損失	△538

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	15,560	5,336	3,918	925	195	25,937
セグメント間の内部売上高又は振替高	668	2	155	697	—	1,522
計	16,228	5,338	4,073	1,623	195	27,459
セグメント利益又は損失(△)	102	382	△2	20	△34	468

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	468
セグメント間取引消去	18
四半期連結損益計算書の営業利益	487

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。